



【東部振興局管内】

H22.4.2

椎茸普及指導情報 第21号

[品評会と作柄版]

全般的に作柄・品質とも厳しい状況が続いています。
大きな山が欲しいところです。

1 単価向上

第4回東部地区乾椎茸品評会を開催します。

当地区の県、全国乾椎茸品評会での上位入賞を目指し開催します。
場所は昨年と同じ国東市安岐総合支所です。

I 審査

平成22年4月16日(金) 13時～17時(国東市安岐総合支所)

II 表彰式・講演会

平成22年4月20日(火) 9時30分～12時(国東市安岐総合支所)

1 表彰式 9時30分～10時40分

(第3回東部地区榎場コンクール表彰式も併せて実施)

2 講演会 10時50分～12時

講師：小野祝保氏(豊後大野市三重町)

講演演題：「暖冬下における安定生産技術について」

(講演内容予定)県内でも指折りの生産者である小野祝保氏が実践されているほど
木作りや低温性品種を主体とした発生操作について等
本人の経験談に基づくお話は、皆さんの栽培の一助になるはず。

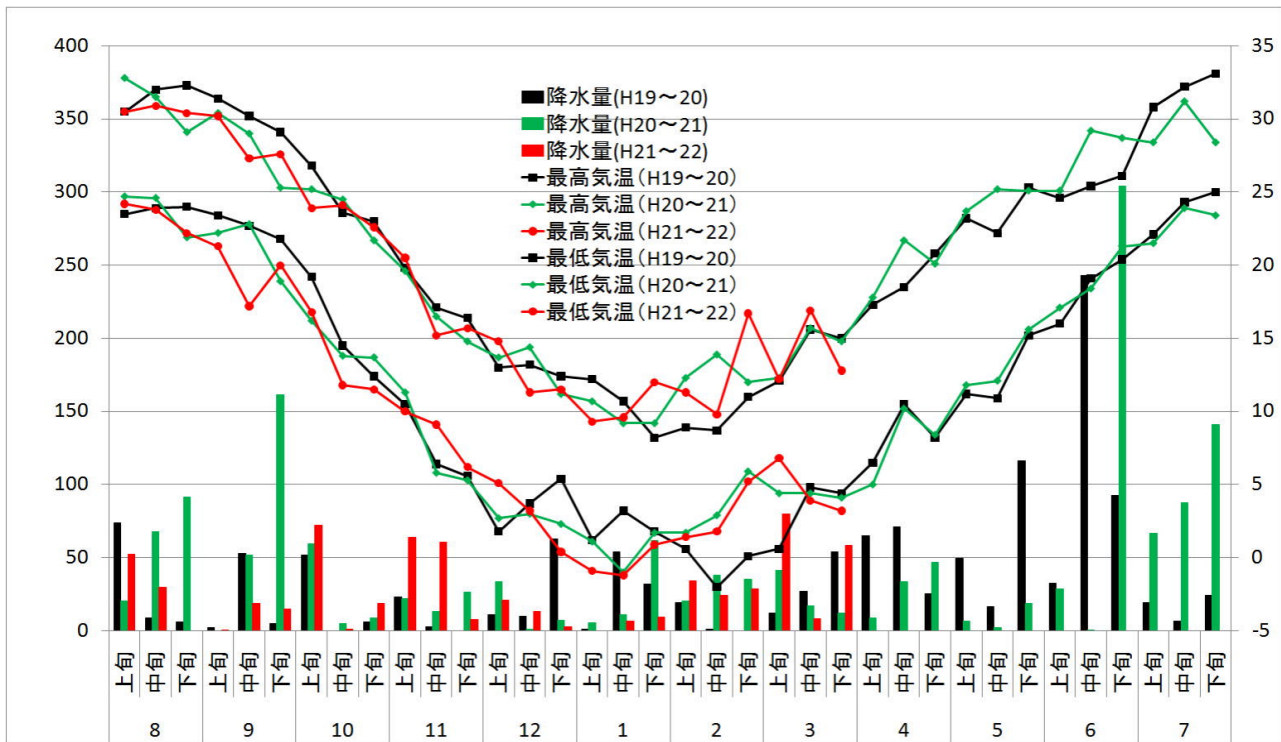
皆さんの多数のご参加をお待ちしています。



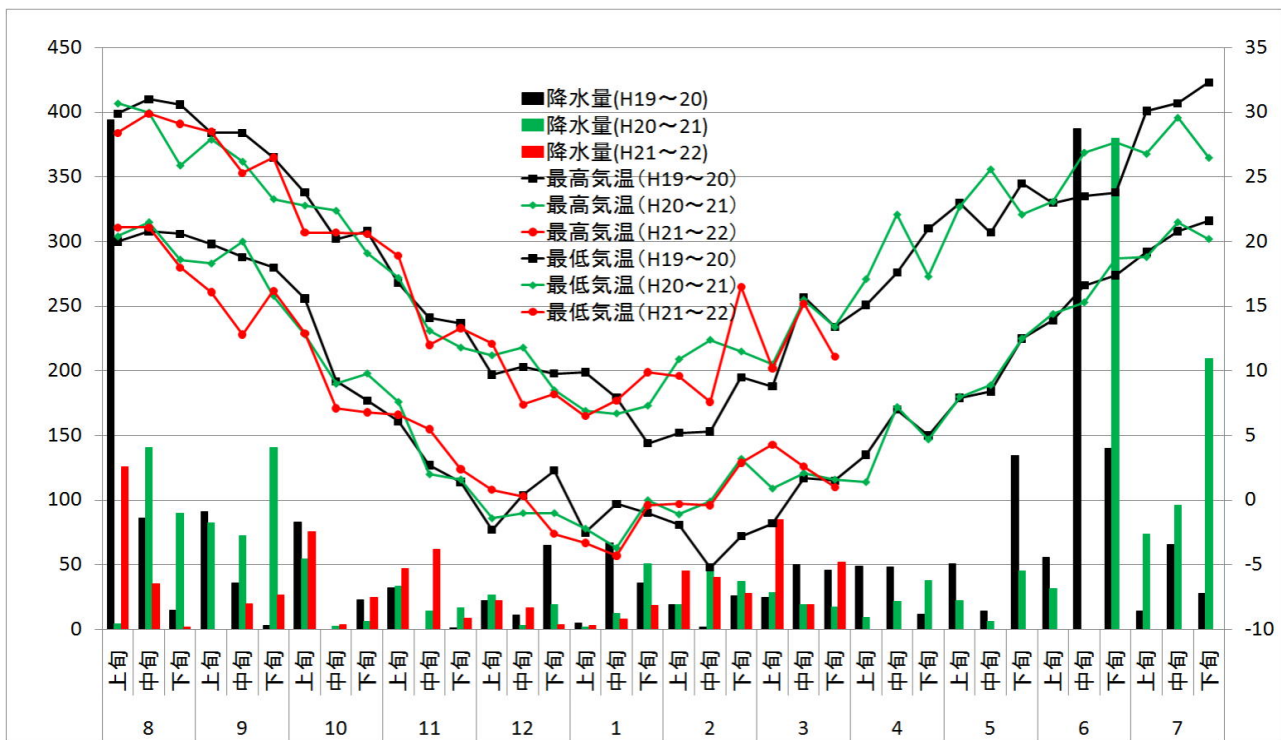
2 単収向上

(1) 旬毎の気象推移と発生状況について

ア 杵築市本庄(標高5m)



イ 湯布院町川南(標高435m)



左の目盛りが降水量、右の目盛りが気温を示します。今年の気象は赤印です。

20号でお知らせしたとおりですが、2月下旬の急激な温度上昇と断続的な降雨により椎茸が小葉のまま一気に開いてしまいました。高冷地も含めて春子が前倒しとなった状況です。品質的においては2月26日の降雨を境にバレ葉の軽い椎茸が多くなっているように感じます。

きのこ研究所が継続的に実施している主要3品種の発生量調査によると、平年に比べ3月末日時点で中温性品種が77%、低中温性が67%、低温性が53%と非常に厳し

い様相を呈しており、管内でも同様の傾向があるように感じます。
 3月は上旬から中旬にかけて降雨が多く、気温の高い状態が続き、新たな芽切りはみられませんでした。3月下旬は寒の戻り(3/27 杵築-2度、湯布院-5.4度等)が見られたことから、追加の芽切りに期待したいところです。



写真① 4/2 大田標高 250m 低温性 3才]

[写真② 4/2 大田標高 200m 中温性 1才]



お知らせ

4月から椎茸の部署が
 生産流部 野菜・椎茸班から **農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班**に変わりました。

部屋も移動しました。

	国東総合庁舎【3階】		
	【生産流通部】		【農山漁村振興部】
アスト	野菜班	企画・管理班	集落・水田班
マルシヨク側	果樹・花き班	経営・畜産班	森林管理班
			水産班
			農政班
			林業・木材・椎茸班
	階段	階段(エレベータ)	

お気軽にお立ち寄りください。

また、栗林主幹が県庁森との共生推進室に異動になり、後任として林業試験場から坂本主査が着任しました。担当エリアはそのまま引き継ぐことになります。

今後とも引き続きよろしく申し上げます。

大分県東部振興局農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班
 担当 坂本(国東市エリア) 河野(別府市杵築市日出町エリア)
 TEL 0978-72-0156 fax0978-72-3697